

訂正： $\pi_{ni(n)}\pi_{n-1i(n-1)}\cdots\pi_{2i(2)}$ を $\pi_{i(n)}\pi_{i(n-1)}\cdots\pi_{(2)2}$ に訂正します。

定理 $n \in \mathbb{N}$ とする。つぎの(ア)(イ)が成り立つ。

(ア) $n+1$ 個の n 項ベクトル $a_1, \dots, a_{n+1} \in \mathbb{R}^n$ は 1 次従属である。

(イ) n 個の n 項ベクトル $a_1 = \begin{bmatrix} a_{11} \\ \vdots \\ a_{n1} \end{bmatrix}, \dots, a_n = \begin{bmatrix} a_{1n} \\ \vdots \\ a_{nn} \end{bmatrix} \in \mathbb{R}^n$ が 1 次独立である

必要十分条件は $A = \begin{bmatrix} a_{11} & \cdots & a_{1n} \\ \vdots & \ddots & \vdots \\ a_{n1} & \cdots & a_{nn} \end{bmatrix} \in M_n(\mathbb{R})$ が正則行列である事である。

行列式

$A = \begin{bmatrix} a_{11} & \cdots & a_{1n} \\ \vdots & \ddots & \vdots \\ a_{n1} & \cdots & a_{nn} \end{bmatrix} \in M_n(\mathbb{R})$ とする。 $\det(A) = \sum_{\sigma \in S_n} a_{\sigma(1)1} \cdots a_{\sigma(n)n}$ を行列

式という。

定理 (ア) $\det(A)\det(B) = \det(AB), \det(I_n) = 1$

(イ) $\det(A) \neq 0 \Leftrightarrow A$ は正則行列

n 次の簡単な正則行列による逆行列の求め方

$n \in \mathbb{N}$ とする。 $i, j \in \{1, 2, \dots, n\}$ にたいして $E_{ij} \in M_n(\mathbb{R})$ を (i, j) 成分が 1 であり、他の成分が 0 であるものとする。

(あ) $a \in \mathbb{R}$ を 0 でないものとする。 $X = I_n + (a-1)E_{ii}$

(い) $b \in \mathbb{R}$ とする。 $i \neq j$ とする。 $Y = I_n + bE_{ij}$

(う) $i < j$ とする。 $Z = I_n - E_{ii} - E_{jj} + E_{ij} + E_{ji}$

上の X, Y, Z の様な n 次の正則行列を簡単な n 次の正則行列とよぼう。

n 次の正方行列 $A, B \in M_n(\mathbb{R})$ にたいして n 行 $2n$ 列の行列 $[A, B] \in M(n, 2n; \mathbb{R})$ を $1 \sim n$ 列目が A の $1 \sim n$ 列目、 $n+1 \sim 2n$ 列目が B の $1 \sim n$ 列目

であるものとする。 $A \in M_n(\mathbb{R})$ にたいして $[A, I_n] \in M(n, 2n; \mathbb{R})$ をかん

がえる $[A, I_n]$ の左からいくつかの簡単な n 次の正則行列かけて $[I_n, C]$

となったとする。このとき A は正則行列であり、 $A^{-1} = C$ である。し

かしながら $[A, I_n]$ の左からいくつかの簡単な n 次の正則行列かけて $[J,$

$C] \in M(n, 2n; \mathbb{R})$ で

$$J = \begin{bmatrix} 1 & & 0 & a_{1i+1} & a_{1i+2} & \cdots & a_{1n} \\ & \ddots & & \vdots & \vdots & & \vdots \\ 0 & & 1 & a_{ii+1} & a_{ii+2} & \cdots & a_{in} \\ 0 & \cdots & 0 & 0 & a_{i+1i+2} & \cdots & a_{i+1n} \\ \vdots & & \vdots & \vdots & \vdots & & \vdots \\ 0 & \cdots & 0 & 0 & a_{ni+2} & \cdots & a_{nn} \end{bmatrix} \in M_n(\mathbb{R})$$

となれば、 J は正則行列でないので A も正則行列でない。 J がもし正

則行列であれば $\mathbf{0} \neq \begin{bmatrix} -a_{1i+1} \\ \vdots \\ -a_{ii+1} \\ 1 \\ 0 \\ \vdots \\ 0 \end{bmatrix} = J^{-1}J \begin{bmatrix} -a_{1i+1} \\ \vdots \\ -a_{ii+1} \\ 1 \\ 0 \\ \vdots \\ 0 \end{bmatrix} = \mathbf{0}$ だから J は正則行

列でない。

内積

$$\mathbf{a} = \begin{bmatrix} a_1 \\ \vdots \\ a_n \end{bmatrix}, \mathbf{b} = \begin{bmatrix} b_1 \\ \vdots \\ b_n \end{bmatrix} \in \mathbb{R}^n \text{ にたいして}$$

$$(\mathbf{a}, \mathbf{b}) = a_1 b_1 + \cdots + a_n b_n$$

を内積という。 $\|\mathbf{a}\| = \sqrt{(\mathbf{a}, \mathbf{a})}$ を長さまたはノルムという。

$$\|\mathbf{a}\| = 0 \Leftrightarrow \mathbf{a} = \mathbf{0}$$

が成り立つ。 $\|\mathbf{a} - \mathbf{b}\|$ を距離という。

$$\text{定理 (ア)} \quad |(\mathbf{a}, \mathbf{b})| \leq \|\mathbf{a}\| \cdot \|\mathbf{b}\|$$

$$\text{(イ)} \quad \|\mathbf{a} + \mathbf{b}\| \leq \|\mathbf{a}\| + \|\mathbf{b}\|, \text{ したがって}$$

$$\|\mathbf{a} - \mathbf{b}\| \leq \|\mathbf{a} - \mathbf{c}\| + \|\mathbf{c} - \mathbf{b}\|$$

$|(\mathbf{a}, \mathbf{b})| \cos \theta = \|\mathbf{a}\| \cdot \|\mathbf{b}\|$ となる θ を角度という。

2 次の回転行列

$$A(\theta) = \begin{bmatrix} \cos \theta & -\sin \theta \\ \sin \theta & \cos \theta \end{bmatrix}$$

を回転行列という。 $\det(A(\theta)) = (\cos \theta)^2 + (\sin \theta)^2 = 1$ である。

$$\mathbf{a} = \begin{bmatrix} a_1 \\ a_2 \end{bmatrix}, \mathbf{b} = \begin{bmatrix} b_1 \\ b_2 \end{bmatrix} \in \mathbb{R}^2 \text{ にたいして } A(\theta)[\mathbf{a}, \mathbf{b}] = A(\theta) \begin{bmatrix} a_1 & b_1 \\ a_2 & b_2 \end{bmatrix} =$$

$$\begin{bmatrix} x & y_1 \\ 0 & y_2 \end{bmatrix} \text{ となる } \theta \in \mathbb{R} \text{ がある。 } S = \{ s\mathbf{a} + t\mathbf{b} \in \mathbb{R}^2 \mid 0 \leq s, t \leq 1 \} \text{ とお}$$

く。

このとき S の面積 $= |xy_2| = \left| \det \begin{bmatrix} x & y_1 \\ 0 & y_2 \end{bmatrix} \right| = |\det(A(\theta)[\mathbf{a}, \mathbf{b}])| = |\det([\mathbf{a},$

$\mathbf{b}])|$ である。

3 次の回転行列

$$H(\theta) = \begin{bmatrix} \cos \theta & -\sin \theta & 0 \\ \sin \theta & \cos \theta & 0 \\ 0 & 0 & 1 \end{bmatrix}, G(\theta) = \begin{bmatrix} 1 & 0 & 0 \\ 0 & \cos \theta & -\sin \theta \\ 0 & \sin \theta & \cos \theta \end{bmatrix}$$

とおく。 $H(\theta)$ は z 軸を軸とする回転をあらわす行列である。 $G(\theta)$ は x 軸を軸とする回転をあらわす行列である。 $\det(H(\theta)) = 1, \det(G(\theta)) = 1$ である。

$\mathbf{a} = \begin{bmatrix} a_1 \\ a_2 \\ a_3 \end{bmatrix}, \mathbf{b} = \begin{bmatrix} b_1 \\ b_2 \\ b_3 \end{bmatrix}, \mathbf{c} = \begin{bmatrix} c_1 \\ c_2 \\ c_3 \end{bmatrix} \in \mathbb{R}^3$ とおく。 $G(\gamma)H(\beta)G(\alpha)[\mathbf{a}, \mathbf{b},$

$\mathbf{c}] = \begin{bmatrix} x & y_1 & z_1 \\ 0 & y_2 & z_2 \\ 0 & 0 & z_3 \end{bmatrix}$ となる $\alpha, \beta, \gamma \in \mathbb{R}$ がある。 $T = \{ s\mathbf{a} + t\mathbf{b} + u\mathbf{c} \in \mathbb{R}^3 \mid 0$

$s, t, u \leq 1 \}$ とおく。このとき T の体積 $= |x y_2 z_3| =$

$|\det \begin{bmatrix} x & y_1 & z_1 \\ 0 & y_2 & z_2 \\ 0 & 0 & z_3 \end{bmatrix}| = |\det(G(\gamma)H(\beta)G(\alpha)[\mathbf{a}, \mathbf{b}, \mathbf{c}])| = |\det([\mathbf{a}, \mathbf{b}, \mathbf{c}])|$ であ

る。